



2011～2012

沼田ロータリークラブ会報

こころの中を見つめよう 博愛を広げるために
Reach Within to Embrace Humanity

2011～2012年度 国際ロータリー会長 カルヤン・パネルジー

例会日…毎週火曜日 12:30 会長 水石清治 幹事 宮内明彦 会報編集 星野貴明
例会場及事務所 沼田市東原新町1540 利根郡信用金庫本店内 TEL 0278-24-1177

第2671回 例会報告

2011年11月12日

記録 星野 貴明

例会 予告

11/22	地区財団小委員長 森田高史先生
11/29	沼田税署長

<http://www.rid2840.jp/numata/>

2011年11月22日発行 No.20

クラブ研修会

今こそポリオ撲滅のとき

～ポリオとロータリーと私～

関 場 慶 博 先生

■富澤勝美クラブ研修リーダー挨拶

本日は大勢のご参加ありがとうございます。今月は財団月間で入口・出口の勉強をしています。財団BOX INを入れていただきありがとうございます。ポリオ撲滅にその資金も使われ役立っています。会長や横山PDGが今年インドに行きポリオ投与したビデオを例会で見ましたが、その先頭でご活躍されている先生の生の声を聞き、現状と今後の課題を学び、財団活動に役立てたいと思います。

■研修講話

ポリオという病気の本体を皆さんはご存知ですか。現代の小児科医でもポリオワクチンは知っていても、どういう病気なのか知らず単に教科書で学んでいるだけで、発症したら診断ができないと思います。私もアフリカに行って知り、日本では実際の患者を見る事はまれです。

10月24日は世界ポリオデーでした。紫色でライトアップされたり、芸能人がキャンペーン活動に協力したりしていましたが、ほとんど知られていません。この日にワクチンが初めて作られたから記念日に決まったそうです。

ポリオに感染して発病すると、カゼの様子とにいてわかりずらく、そのままにしておくと脊髄に菌が入り、運動神経がやられ、動けなくなり、呼吸もできなくなり亡くなってしまいます。助かっても足が不自由になります。アメリカ大統領のフランクリン・ルーズベルトはポリオで足が不自由でした。

ロータリーはポリオプラスという事で、ポリオの他にはしか、ジフテリア、破傷風等の



感染症を含めて始め、ポリオを中心とし2滴の生ワクチンが1回の量でインドなどでは医師でなくても投与でき、費用も少なくて済みます。

アメリカでは、1916年4人に1人がポリオで亡くなっていました。1954年ソーク博士は不活化ワクチンを開発して注射で投与しました。救世主となり発症が激減しました。60年にはセーゼン博士により生ワクチンが開発されましたが、アメリカでは受け入れられず、ソ連に渡り簡単に安く投与できるので世界に広がりました。ポリオは3つの型がありすべての型に対応する生ワクチンもあります。

日本での流行は、59年八戸からはじまり、60年夕張炭坑から北海道全域に広がり、1640人発症してその1割が亡くなりました。その頃は池田内閣の時代で、厚生大臣が英断を下し、世論を受け入れ、まだ認定されていないソ連の生ワクチンを輸入しました。



ポリオはその後静まっていきました。

ポリオの感染は人間と猿にしかしません。人が感染しても発症しない事も多く、その人から多くの人に感染してしまいます。菌は便の中にいて、人の中でしか生きられないのです。天然痘は10年で撲滅しました。それは症状がはっきり表れるのでできましたが、ポリオは95%発症しないので、キャリアのまま菌は生きてしまっていて、またいつ出るかわからないのでやっかいです。

ワクチンは、不活化ワクチンの注射と生ワクチンの投与が簡単な2種類です。生ワクチンは安く簡単でだれでもできます。しかし、菌は生きているので、投与者が発症する場合もあり、先進国で使っているのは日本だけです。私の所では、不活化ワクチンを望む方々にはフランスから輸入して注射をしています。不活化を望む方は多く、私も国に働きかけていますし、理解ある国会議員もいて協力していただいています。来週は国会議員の勉強会の講師をたのまれています。来年には議員立法で不活化を認めてほしいと思います。

米国では、ACIPという政府とは独立した検査機関があり、ワクチン等を調査して勧告する権限とそれを守らせる権力があります。日本は厚生省内に検討委員会があり検討答申をするけど効力はなく内部で止まってしまう。米国と同じ様な予防接種の勧告委員会が必要です。

ポリオ根絶計画は、79年フィリピンでの3Hプログラムで成果を上げ、85年からWHOが取り組み、88年に世界各国の担当大臣を集め根絶プログラムへの協力を依頼した。天然痘を10年間で米国で根絶した経験をもとに、事務局長が「未来の子供達への永遠のプレゼント」であるから進めたいと2000

年を目標にしたが、いまだできていません。88年以前に入会したロータリアンは、いいいつ終るのかとよく言っています。

生ワクチンを使用していますが、どこで発症してもすぐにチェックできる体制になっています。世界中にそのための研究機関も必要で費用がかかります。

88年125ヶ国35万人の患者がいました。85年からロータリーはポリオプラスを始め、WHOが88年から取り組み、2010年4ヶ国232人まで少なくなりましたが根絶にはなりません。根絶した国でも再発する事があります。発展途上国などでは、根絶するとWHOの支援が無くなり費用が無く、投与が続けられない事が多く、どこからともなく再発してしまいます。日本でも接種率が下がっているなので続けないと復活してしまいます。インドでは1例だけになり、来年は0になるかもしれません。インド、パキスタン・アフガニスタン・ナイジェリアの4ヶ国はまだですが、インドの様にまじめに続ければ根絶できるのです。

ビルゲイツの協力に大きく進展しています。ゲイツ財団はロータリーと共にポリオ根絶をするため資金だけでなく、名前で各国政府にも働きかけています。日本に彼が来た時野田総理も会って、パキスタンに50億の支援を引き出しています。彼の財団は、25,500万ドルをロータリー財団に寄付をして更に、1億ドルを増し、その代りにロータリーも2億ドル集めるよう要求して、皆様にもご協力いただいています。

日本国内では、生ワクチンをまだ使用しているため、数人発症してしまい不活化に早く変えてほしいと要望していますが、やっと2年後に認可される見通しになりました。ただし国内で生産されたものだけで、輸入を認めないのです。高いワクチンを使用しなければならないのは不思議であります。来週国会議員の方々にもおかしい所を訴えたいと思います。

私は弘前の藤崎町の出身で、ここには弘前大の農学部研究所があり、りんごの「ふじ」はこの地名からとったものです。沼田のりんごもおいしいですね。

私が何故ポリオを仕掛けているかというと、医療協力でアフリカのガーナに行ったのがき

っかけで、多くの感染症がある中でポリオが多く目の当たりにしていました。その時に軍事クーデターがあり、日本人だから大丈夫と
思っていたら、日本人を分らない兵士に銃を突き付けられた時に、ガーナの友人に助けられ、ガーナのためにと思いました。帰国して88年にロータリーに入ったらポリオプラスをしてしたのでした。昨年横山さんや水石会長とインドに行きました。2000年から続

けていますが、年々同行して協力する仲間が増え、大坂の方がPRDVDをまとめてくれたり、名古屋の方は独自に行くようになりました。インドでは日本人と共に行う事で勇氣と安心を与えられるといっています。インドで根絶できれば、他国でもできると信じて「なくなるまでやる」が自分のポリシーです。

今後ご協力をお願いし、沼田の皆様方もインドに行きましょう。

例 会 報 告

■司 会 今井幸吉 S A A 出席委員長

■来賓及び来訪ロータリアン

第2830地区パストガバナー (弘前 R C)

沼田中央 R C 会長	関場慶博様
〃 幹事	生方真司君
〃	柳 信男君
〃	國府田坦君
〃	山田 豊君

会長の時間

水石清治会長

本日はクラブ研修会で関場先生をお迎えいたしました。今年2月インドへポリオ投与に同行させていただきました。来年も予定されましたら是非行きたいと思います。

幹事報告

宮内明彦幹事

・特記事項無し

委員会報告

◎ニコニコ委員会

深津卓也委員長

- ・横山公一君 日頃大変お世話になっている関場 P D G を遠くよりお迎えし卓話が開け感謝。
- ・水石清治君 関場先生をお迎えして。インドでは大変お世話になりました。次回も是非参加したいと思います。
- ・生方真司君 (沼田中央 R C) 11月9日水石会長にお越しいただきポリオの卓話ありがとうございました。今日は関場先生のお話で勉強させていただきます。
- ・富澤勝美君 関場先生遠路ご苦労様です。会員の皆様クラブ研修会にご参加ありがとうございます。
- ・ニコニコ週間 関場先生をお迎えして。
松野正一君 諸田豊二君 山田龍之介君
深津卓也君 宮内明彦君 小野里雅広君
平井秀明君 宮澤孝幸君 荒井静雄君

阿形登氏君	関 真一君	桑原伸一郎君
田代経量君	今井幸吉君	星野貴明君
都丸順次君	桑原 滋君	保坂充勇君
綿貫利彦君	角田 隆君	前田善成君

沼田ローターアクト

るびす講チャリティーバザー

11月13日上之町

ご協力ありがとうございました

